

平成21年防府土砂災害

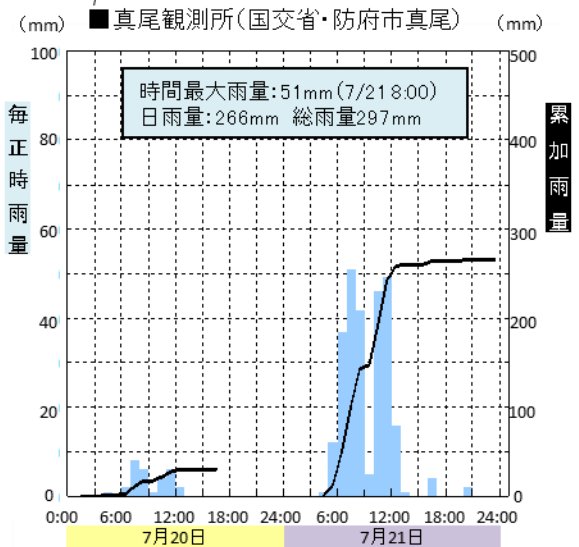
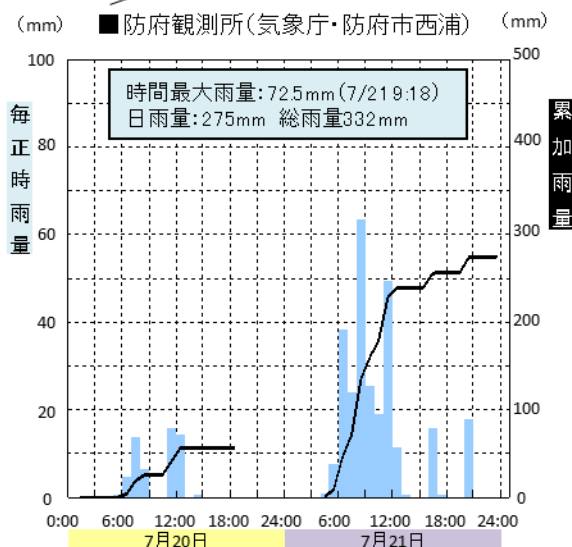
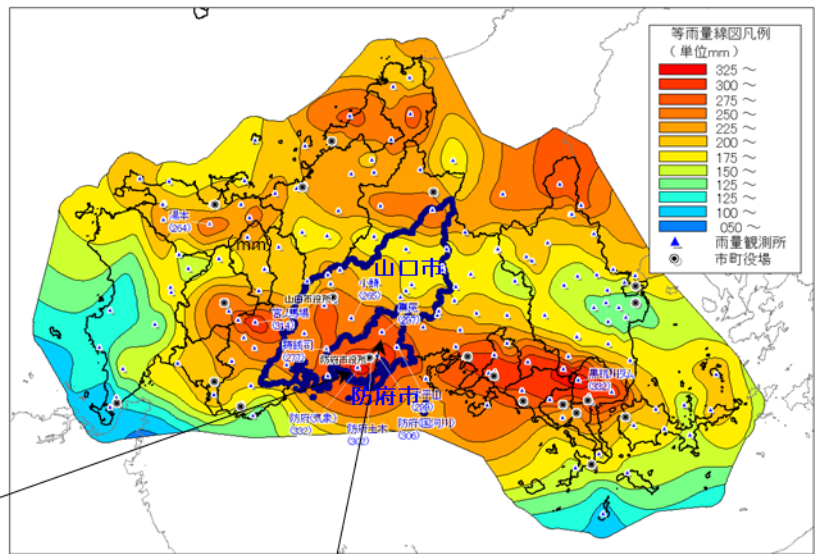
平成21(2009)年7月

■気象の概要

山口県の北の海上をゆっくり南下する梅雨前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が非常に活発化していました。

梅雨前線に近い山口県では7月21日明け方から激しい雨が降り始め、午前8時までの1時間に北部・西部・中部で80mm以上の猛烈な雨となりました。午前8時半には山口市阿知須付近で1時間に約100mmの記録的短時間大雨も発生しました。昼頃にかけて県内の広い範囲で1時間に50mm以上の非常に激しい雨が降り、ほぼ全市町に土砂災害警戒情報が発表されました。美祢市桜山では7時50分に観測史上1位となる1時間降水量90・5mmを観測、3時間降水量、24時間降水量と併せて観測史上1位を更新しています。

山口県内総雨量分布図 平成21年7月19日～21日



■直後の被害状況

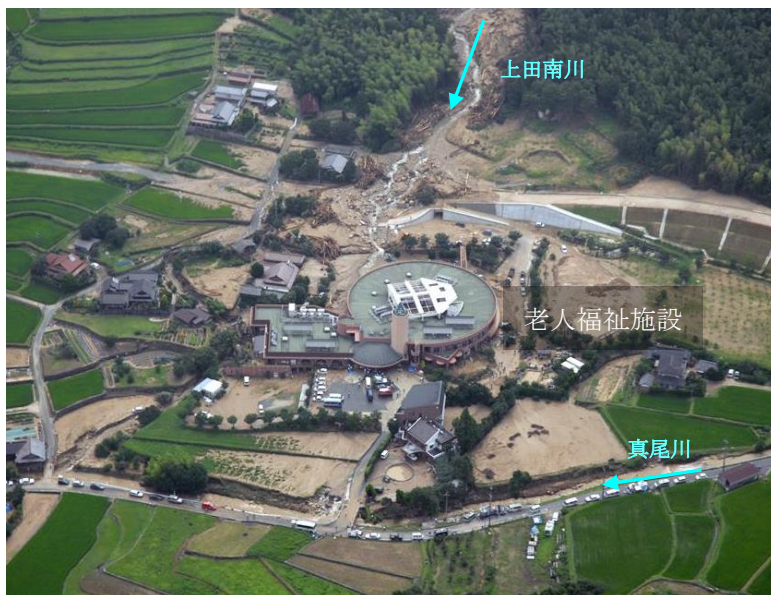
防府市では7月21日昼前から土石流が相次いで発生し、特別養護老人ホームなどを直撃しました。ホームの3人が亡くなったのははじめ、同市内で5人が死亡、9人が行方不明となっていると、中国新聞7月22日付朝刊が報じています。美祢、下関両市でも各1人の行方が分からず、山口県内の不明者は計11人となっていました。

防府市真尾地区で土石流が起き、特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」に土砂が流れ込んだのは午後0時20分ごろ。入所者の男性2人と女性1人の計3人が死亡。入所者の男女4人が行方不明となり、1人がけがをしました。ホーム近くの民家の住民2人も行方が分かっていないと報じられました。2階建てホームの1階は土砂に埋まった状態で、取り残された入所者と職員の計約90人は市内の学校施設に搬送されました。読売新聞22日付朝刊によると、亡くなった3人は1階食堂で昼食を済ませ、自室に戻ったところで被害に遭っています。

中国新聞22日付社会面は「迫る巨石 ごう音・悲鳴」の大見出しで報じています。ライフケア高砂では土砂がガラスを突き破り、1階に押し寄せました。「近くの道路は川のようになり、丸太が流れていた」という証言もあります。職員を含めた90人が屋上で救助のヘリコプターを待ちました。救助された介護士の一人は濁流に一度飲み込まれたそうです。「死ぬと思ったが、助かった。必死になって入所者を誘導した」と語っています。同じ真尾地区の集落の被害も大きく、民家や田畑、乗用車が土石流の直撃を受け、4m四方の巨石群が転がっていました。救助活動は濁流の中、ボートを使って行われました。朝方は透明だった川の水が昼頃には茶色に濁っていた、という証言があり、予兆があったことも分かります。



土石流が流下する国道262号（剣川：防府市大字下右田）
【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所蔵】



土石流に襲われた老人福祉施設（上田南川：防府市大字真尾）
【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所蔵】



土石流の被害を受けた奈美地区
（奈美川（松ヶ谷川）：防府市大字奈美）
【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所蔵】



土石流が流下する国道262号
（神里川：防府市大字下右田）
【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所蔵】

■被害状況のまとめ

この豪雨と土石流などによる山口県内の死者は防府市の14人を含む17人、重軽傷者は35人でした。防府市以外では下関、岩国、美祢の各市で増水した水路への転落などによる犠牲者が出ました。

住家の被害（全壊、半壊、一部損壊、床上浸水、床下浸水）は県内17市町で4698棟に達しました。山口市の1984棟、防府市の1216棟で大半を占めます。全壊家屋は33棟で、うち防府市が30棟を占めています。

また、インフラの被害額は公共土木施設が118億円、農林水産業施設が59億円、公立文教施設が1億8千万円などとなっています。道路の全面通行止めは最大で65か所、学校は36校が被害に遭いました。文化財関係では「萩往還」の道沿いが一部崩壊しました。農地への土砂流入、農作物の冠水などの被害面積は1200haに上りました。水産・商工関係でも多大な被害が発生し、河川の氾濫による養殖魚の流出なども起きました。

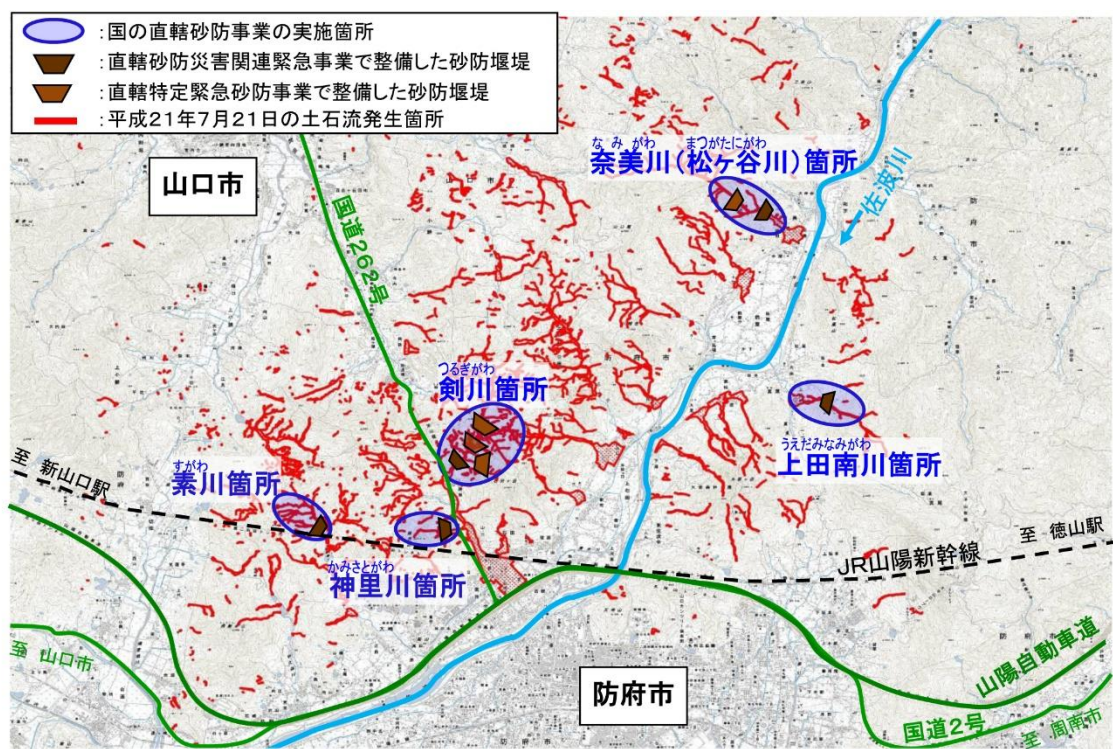
そのほか停電は延べ40700戸、電話回線の不通は336回線、断水35694戸。山口市では榎野川の堤防に隣接する朝田浄水場の冠水などにより断水の被害が特に大きくなりました。

■避難状況のまとめ

10市1町の37108世帯87218人に避難勧告、3市の1129世帯3016人に避難指示が出されました。10市3町の100世帯256人が自主避難しました。

■国交省と砂防事業

国土交通省は中国、四国、中部の各地方整備局からTEC-FORCEを派遣し、山口県庁、防府市役所、防府土木建築事務所を拠点に被災箇所の緊急点検を実施しました。また山口県知事の要請を受けて、剣川、神里川、上田南川、素川、奈美川(松ヶ谷川)の5溪流を対象に「直轄災害関連緊急事業」に着手し、ほぼ1年間で各溪流に砂防堰堤1基(計5基)を整備しました。引き続き直轄災害関連緊急事業で整備した5溪流のうち、抜本的な対策が必要とされた剣川、上田南川、奈美川(松ヶ谷川)の3溪流については「直轄特定緊急砂防事業」に着手し、平成26年3月に完成しました。



砂防事業実施箇所

剣川における砂防施設整備状況 【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所】



奈美川(松ヶ谷川)における砂防施設の整備状況



奈美川(松ヶ谷川)における砂防施設整備状況 【国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所】

1. 碑名 平成 21 年 7 月 21 日豪雨災害 慰霊碑



災害名 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (2009 年 7 月 21 日)
 災害種別 土砂災害
 建立 平成 22 年 (2010) 勝坂自治会
 所在地 山口県防府市大字下右田
 言い伝え この豪雨による土石流により、下右田・勝坂地区の集落が被災し、4 人の命が失われた。この豪雨災害を後世へ伝えようと、慰霊碑が建立された。

災害名 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (2009 年 7 月 21 日)
 災害種別 土砂災害
 建立 平成 22 年 (2010) 7 月 社会福祉法人 ライフケア高砂
 所在地 山口県防府市大字上右田
 言い伝え この豪雨により、防府市真尾の特別養護老人ホームに土石流が直撃し 12 名 (災害関連死を含む) が犠牲となった。慰霊碑は令和 2 年 1 月に現在施設のある防府市上右田に移設されている。

2. 碑名 寂靜



3. 碑名 土石流災害追憶の碑



災害名 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (2009 年 7 月 21 日)
 災害種別 土砂災害
 建立 平成 26 年 (2014) 3 月
 所在地 山口県防府市大字真尾
 言い伝え この豪雨により土石流災害が発生し、上田南川では 7 名が犠牲となった。災害の記憶を風化させず、大雨が降るたびに土石流の恐怖を思い起こし後世に語り継ぐためにこの碑が建立された。

4. 碑名 防府市豪雨災害 慰霊之碑

災害名 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (2009 年 7 月 21 日)
 災害種別 土砂災害
 建立 平成 26 年 (2014) 劔神社 氏子一同
 所在地 山口県防府市高井 (劔神社)
 言い伝え この豪雨により防府市高井地区、下右田地区は劔川を流下してきた土石流にのみ込まれ、4 名の尊い命が失われ、家屋や水田に多くの被害が発生した。



5. 碑名 豪雨災害を忘れないために



災害名 平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 (2009 年 7 月 21 日)
 災害種別 土砂災害
 建立 平成 22 年 (2010) 9 月 30 日
 所在地 山口県防府市大字奈美
 言い伝え 平成 21 年 7 月 21 日に発生した大規模な土石流災害では 1 名の尊い命が失われた。この災害の記憶を後世に伝えるため、この碑が建立された。